

令和7年度

保育協議会だより

No. 2



秋田市保育協議会

新施設長紹介



白百合いずみこども園

園長 薄田 千秋

白百合いずみこども園は、令和3年4月に保育所型認定こども園となり、老朽化で建て替えも同時にしているので、とても新しい施設です。住宅街で敷地が狭いため総2階建ての工夫を凝らした作りで、例えば駐車場はビルトインで雨に濡れずに送迎ができ、お布団など荷物の多い時は、保護者の方に特に喜ばれています。園庭は広くはないですが、保育室から出入りがしやすく、屋上ひろばでは水遊びもできるようになっています。近所にはたくさん公園があるので、子どもたちは四季折々自然の中で、園外活動を楽しんでいます。

7月1日付で辞令を受け、秋田市で一番新米の園長となりました。ご指導よろしくお願いいたします。園勤務は9年目になりました。それ以前は、学童支援員、事務、パート勤務、主婦、教員・・・と職歴はいろいろですが、保育の仕事に携わるようになって新鮮だったのは、先生方の子どもや保護者への言葉掛けや傾聴の姿勢です。寄り添う姿には後光すら感じます。自己を振り返ると、いつも解決重視で傲慢さがありました。職場や保育協議会の皆様の中には、保育一筋30年以上という方もたくさんいらっしゃいます。驚き、尊敬と同時に、こんな私で大丈夫かなあ・・・という気持ちでおります。

こども園は、かわいい子どもたちと一緒に子どもの世界を楽しむことができ、毎日が輝いています。明るく温かい園の中に自分の居場所があることは幸せなことです。責任や力不足を感じることも多いですが、子どもの笑顔を励みに自分自身も笑顔でありたいです。

職員皆さんの声を聞かせていただき、信頼し合って一緒にがんばっていきたいです。そのためにも思い込みをなくすよう、視野を広げ考えを深めるように努めます。伝統と革新を大事に、不易流行をモットーにして取り組んでいけたらと思っています。

保育協議会の皆様方には、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、仲良くしていただけたらうれしいです。どうぞよろしくお願いいたします。

秋田市保育協議会から市長に要望書

8月18日、秋田市保育協議会の上村会長他役員3名が秋田市役所を訪れ、「障がい児保育事業」の対応と、「保育体制強化事業」等国の補助事業の実施について、また冷暖房加算が「地方交付税交付金」へ組み込まれた場合の配分について等、今後の保育行政に関する要望書を沼谷市長に提出しました。



【沼谷市長と上村会長】



令和 7 年 10 月 発行